

農学国際教育研究センター2019年度 第1回オープンセミナー

GTR-ICREA-ITbM Seminar

日時	2019年7月10日 13時～14時半
場所	ITbM1階レクチャールーム
言語	日本語（スライド：英語）
講師	石谷 学 博士 (農業生物多様性研究領域 国際熱帯農業センター)

次なる40億人 農業研究開発から学んだことと今後の方向性

世界の約40億人の低所得者層、所謂base of the economic pyramid (BOP) の70%以上が発展途上国の小規模農家といわれている。この小規模農家を取り巻く環境は近年著しい変化を遂げている。都市化、中産階級の増加による食生活の変化。これは発展途上国の農業セクターにとっては新しい成長の機会である。即ち“生きる手段としての農業”から“ビジネスとしての農業”への転換を意味する。この転換はスマートフォンに代表されるICTやIoT技術の導入により発展途上国の農業の生産現場から消費に至るまで急速に進められつつある。南米コロンビアにある国際熱帯農業センターの農業研究開発の取り組みからそのチャレンジと展望について紹介したい。



お問い合わせ：榎原 大悟（内線 4226）

名古屋大学 農学国際教育研究センター



GTR
Nagoya University

ICREA
Nagoya University



ITbM
Nagoya University